

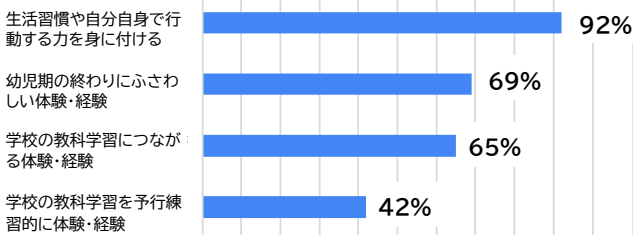
# 未来へつながる通信 vol.183

発行：令和 7 年 12 月 10 日 袋井市教育委員会

## 幼保小の架け橋事業が進んでいます

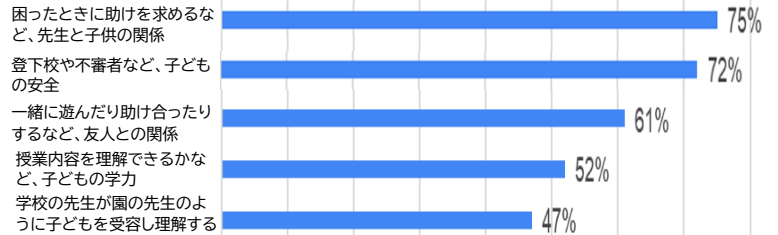
袋井市では、令和 4 年度から幼保小の円滑な接続を目指して架け橋事業に取り組んでいます。9 月に、5 歳児と小学校 1 年生の保護者の皆様を対象に、架け橋事業に関する意識調査(アンケート)を実施しましたので、結果をお知らせします。

Q1:小学校入学前の取組で大切だと思うものを全て選んでください

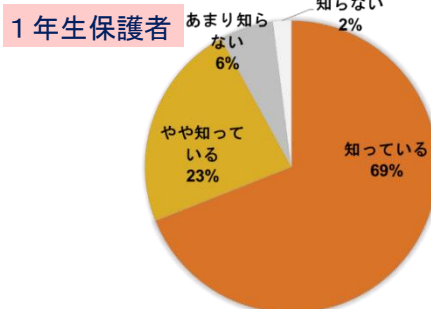
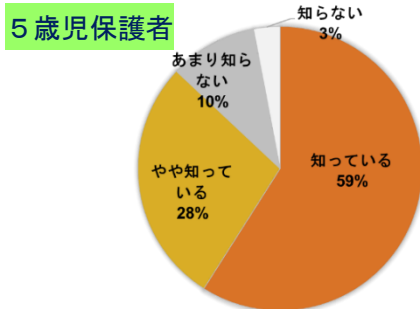


5 歳児保護者

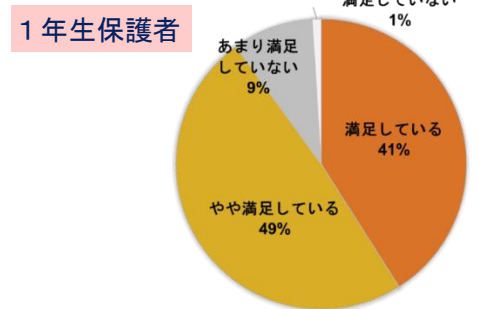
Q2:小学校入学に関し、特に不安を感じることを選んでください(上位5つを表示)



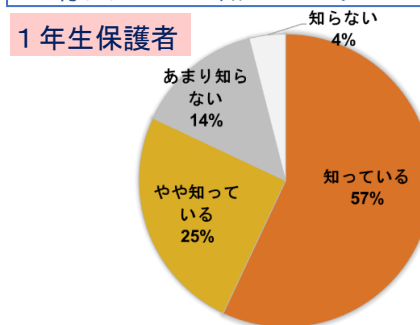
Q3:小学校入学に向けて、園と小学校が連携して取り組んでいることを知っていますか



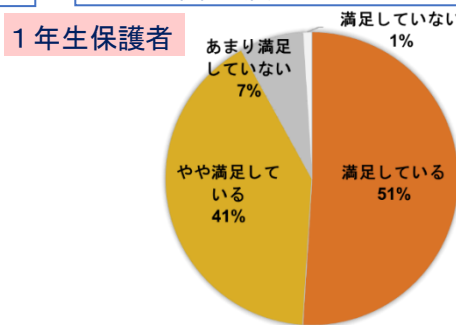
Q4:小学校入学に向けて、園と小学校が連携した取組に満足していますか



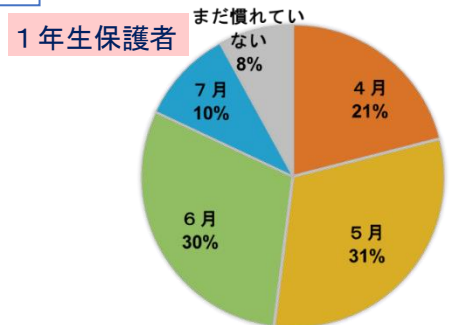
Q5:小学校で 4 月から 5 月にかけて、時間割の工夫や遊びをとおしての仲間づくりなどが行われたことを知っていますか



Q6:小学校での 4 月から 5 月にかけての時間割の工夫や遊びをとおしての仲間づくりなどの取組に満足していますか



Q7:お子さんは、何月ごろに小学校生活に慣れたと感じますか



### 『袋井市の架け橋事業の成果と方向性』

架け橋プログラムを実施して 3 年が経過しました。5 歳児の多くの保護者の皆さんは、本市が取り組んでいる就学前教育・教育の充実(架け橋プログラム)について御理解をいただいています。これは、幼小の接続を教員同士が意識して互いの教育保育内容を理解して取り組んでいる成果だと感じています。一方で、保護者の皆さんは、安心・安全な学校生活に不安を感じているようです。この不安解消に園・校共に連携し取り組むことで、楽しみのある学校・園づくりを目指し、リアルな体験と人間関係作りにも力を注いでまいります。

「未来へつながる通信」は、袋井市が進める「幼小中一貫教育」について、考え方や関連する取組の様子などを、お知らせするために発行しています。

